



特集

1. 収入保険制度

2. 水稻の刈取

3. 畦畔除草の事故報告

4. 暗渠排水の破損

5. 業務委託契約

6. 農作業の予定

9月上旬～キヌヒカリ・

日本晴刈取

大豆ヘリ防除

9月下旬 畦畔除草

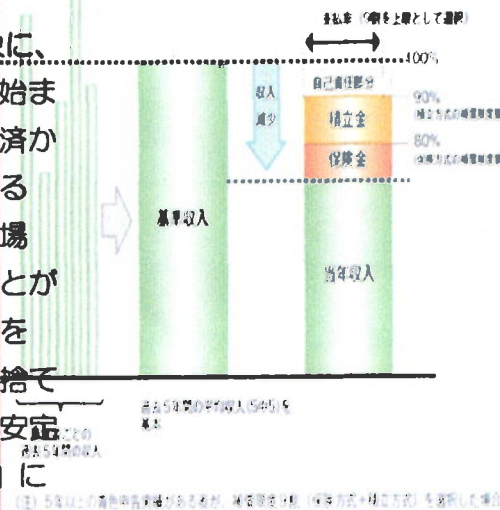
小麦作付け準備

ひとりごと

今年は地球温暖化の影響なのか、台風の発生が多いようです。子供の頃、大きな台風が来ると、宇曾川や愛知川が氾濫していた記憶がある。隣の三津町や百々町が水没しており、母親や祖母がおむすびを握り、炊き出しをしていたことを思い出します。幸いにも我が町は、先人のどるい土塁で囲われ被害が少なかったようです。台風の季節ご用心を！ ㊟

収入保険制度への加入

平成31年1月から全ての農産物を対象に、収入減少を補填する「収入保険」の制度が始まります。当法人においても、従来の農業共済から移行します。自然災害や病害虫などによる収量減少、災害時における作付け不能、市場価格の低下等の様々なリスクを回避することがより健全な農業経営の確立に寄与することを念頭に置いた制度です。従前の年度毎の掛捨てでは無く、積立併用方式に付き長期的には安定していると思います。現在「NOSAI滋賀」に試算表を依頼している。



水稻の刈取

8月20日より「みずかがみ」を手始めに、収穫作業が始まりました。今夏は高温が連日のように続き、高温障害が発生する心配がありましたが、幸いにも早生品種（特にみずかがみ）に関しては影響が少なかったようです。水管理等の作業ご苦労様でした。今後は2品種の刈取作業が有りますので、畦畔除草・水管理をよろしくお願いします。本来なら本州は温帯気候であったが、近年では亜熱帯化しているようで、水稻の作付け品種も考慮すべき時期に差し掛かっている。

畦畔除草の事故報告

今年度の畦畔除草作業において、一部の圃場で隣接の水稻が、除草剤の影響で枯れるという事象が発生しました。当該事故については、隣接耕作者との間で損害賠償補償で結着をみました。今後は風が強い日は散布しない。噴霧ノズルの方向に留意して除草作業にあたってください。

暗渠排水の破損

先月末に暗渠排水の破損が発生いたしました。下部から破損している模様で、重機による掘削・修繕が必要だと思われます。今後は農作業等に注意して、万が一事故等が発生した場合には、早急に理事に連絡ください。尚、修繕については、愛西土地改良区に手配をお願いしております。

業務委託契約

2月の年次総会において確認された、ファーム肥田特別代理人と成宮一郎氏との間で業務委託契約を結びましたので、報告させていただきます。

